にいがた
市報
発行所　新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話 代表(28)1000
編集人　本間高明（担当企画部広報課）
印刷所　㈱旭光社

市の人口

	前月比
人口	404,553(+562)
男	197,801(+253)
女	206,752(+309)
世帯数	123,301(+242)

48年10月末日現在

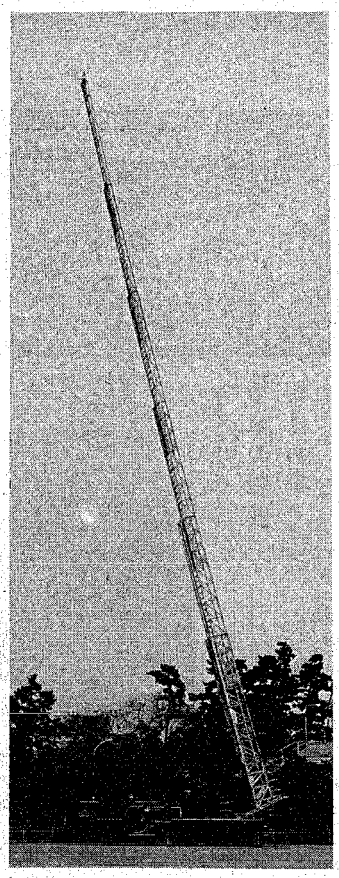
（おもな内容）

二面●効果を発揮する二本のバイパス —新潟・亀田バイパス全線開通—
三面●そろった秀作 —第五回新潟市展から—
四面●ことしの冬は備えOK!!

昭和49年 新潟市民 新年祝賀式 元旦、体育館で

▶期日　昭和49年1月1日(火)
▶時間　午前11時から
▶会場　新潟市体育館
▶会費　1人 700円
▶申込み　12月20日(木)までに、参加申込み用紙に会費をそえて市秘書課、各地区事務所、連絡所までお申し込みください。

全国で八台目 四十メートルハシゴ消防車 市内のビルならすべてオーケー



地上40メートルの高さ 13階建てまでなら楽々

新潟市に四十メートル級のハシゴ消防車がはいりました。

地獄絵が現出しました、北九州の十八人、静岡県と三台のハシゴ車があったおかげですが、これらでは不充分なビルが一、二ありました。しかし、この四十メートル級ハシゴ車の登場で、建築中のものも含めて、市内にあるすべてのビルに対処できることになります。

このハシゴ車には、石油火災などにそなえた、高圧泡消火設備、人命救助の際にかかせない酸素呼吸器（待機時間が倍化された最新式のもの）など、優秀な近代装備が、つけられています。

消防車が、あまり活躍するのは考えものですが、この四十メートルハシゴ車、子ども達の人気は既にどうです。

新潟市は、日本海時代の拠点都市の活生会、輸病院の火災では十人が、近くは高附市の西武ショッピングセンターの火災など、実例小路や、駅前は、高層ビルが林立するといった様相を示して来ました。高層ビルが立ち並ぶのは、近代都市を象徴するものですが、反面、火災などの場合に、尊い人命が、多く失われるという危険も高くならざるを得ません。

そうしたビル火災に力を発揮するのが、ハシゴ車なのは、いうまでもありません。

今まで、新潟市には、三十二メートルハシゴ車が、消防署に一台あるだけでした。

映画館、飲食店などに 防災カーテンを義務づけ

過去、多くの火災で、しばしばカーテンなどが火災を大きくしてきたところから、劇場やデパートあるいは飲食関係など、公共的な要素の強い建物に、カーテン類の防炎加工が義務づけられました。

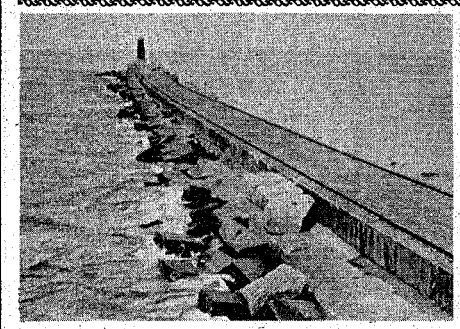
該当する場合は、速かに防炎加工をしてください。

▼対象となる建物　劇場、映画館、演芸場、観覧場、公会堂、集会場、キャバレー・カフェー・ナイトクラブの類、遊技場、ダンスホール、料理店の類、飲食店、百貨店、マーケット、その他物品販売業を営む店舗または展示場、旅館、ホテル、宿泊所、病院、診療所、助産所、老人福祉施設、有料老人ホーム、救護施設、更生施設、児童福祉施設、身体障害者更生援護施設、精神薄弱者援護施設、幼稚園、盲学校、聾学校、養護学校、トルコ浴場、サウナ浴場の類、映画スタジオ、テレビスタジオ、以上のものを含む被合的な施設。

▼対象となる物品　カーテン、暗幕、どん帳、その他舞台に使用する、布製のプランド、農業用のテント、ビニールシートの合板または繊維板、舞台で使用する大道具用の合板または繊維板工事用シート。

▼問合わせ　消防本部（☎28―〇〇〇番　内線四九八、四九九）

突提 新潟再発見 ▷12◁



大正年代の突提と灯台

西港を守り続けて半世紀

ザオをたてています。晴れた日には、先端の灯台まで歩けば、ちょっとしたハイキング、とくに下町（しも）に生まれた人間には、幼い日、時を忘れて遊び暮れた、思い出の一ページを飾るものです。

一つに指定されたのは有名ですが河口港の宿命のため、発展がとり残されます。当時の信濃川河口は「河幅は大国でその上水量は豊富で、土佐からの土砂はここに沈殿し、所々に砂洲が生成し、このために河水の流れを妨げられ流水甚だしく、殊に港口などは土砂が沈殿して浅瀬となり、その度も河水の増減と風波の強弱によって変り、一日として常態を維持できない（新潟開港百年史）状態だったといいます。

突提の建設を含む新潟港修築は港と命運をかける新潟市民の願いを抱って行なわれたものです。

しかし、日本海の経営をついての大事で、日露戦争のため十八年後の大正十三年になります。東西突堤の完成で、深浅（しゅんこう）工事で、新潟港はようやく、立派な港となったのです。

以来半世紀、この突堤は港を守り、市民に親しまれているわけです。

老人専用居室整備資金を融資 年利三パーセント無担保

▷融資対象者
①現在老人と同居しているかまたは同居しようとする親族の現在居住家屋と同居している老人、または同居しようとする老人のいずれかに該当する人で次の要件を満たす人
②自己資金で居室を整備すること

この制度は、新潟市が、県内で初めて、老人福祉施策の一環として単独実施したものです。

新潟西港を日本海の荒波から守り続けてきた西突堤。休日ともなれば、釣り人間の太公望たちが、何千というつり人

この突堤の建設が始められたのは明治二十九年。安政五年の日米修好通商条約で、下田、函館、長崎、兵庫と並んで五港の

小企業経営改善資金融資 無担保・無保証

小企業者の経営改善をはかるため、新潟商工会議所では、国の制度による「小企業経営改善資金融資」を単独で行なうことにしました。

申し込み、お問合わせは、新潟商工会議所（市内上大川前丁、☎23―六二七一番）中小企業相談所へご相談ください。

▼融資対象　商業・サービス業で常時雇用者二人以下、製造業その他で常時雇用者五人以下の企業

▼融資額　運転資金五十万円以下設備資金百万円以下

▼金利　年七・〇％

▼貸出期間　二年以内

▼担保、無保証人です。

▼融資機関　国民金融公庫　新潟支店

電話案内

本庁	28―1000
東総合庁舎	41―4111
東地区事務所、工業振興課、衛生課、公害課、清掃業務課、清掃施設課、東保健所、沼垂図書館	
中地区事務所	74―0321、74―4039
西地区事務所	62―3111、62―3405
北地区事務所	59―2721、59―2303
西保健所	66―5171
市民病院	41―5151

旧金鵄勲章 叙賜者に銀杯

～申請は12月31日まで～

昭和15年4月29日付の発令で金鵄勲章を受けた方に内閣総理大臣から銀杯が贈られますが、該当者でまだ申告をされていない方は、お早めに市福祉課へお申し込みください。

なお、昭和38年4月1日以降に本人が死亡した場合は、その遺族の方に贈られます。

盆栽と鉢物の講習会

冬期間の盆栽や鉢物の管理について講演と園芸相談を次のように行ないます。お気軽においでください。

▶期日　12月7日(金)
▶時間　午前10時～午後2時
▶会場　農林中央金庫新潟支所3階ホール（寄居町344の1）
▶講師　県立新発田農業高校教諭　本間久雄氏
▶受講料　無料
▶その他　鉢物をご持参いただければ個別相談に応じます。

「はたちの主張」 論文募集

テーマ　成人式をむかえて、こんな人生を送りたい、わたしの奉仕活動、わたしと青年活動、の中から1つを選んで400字づめ原稿用紙に4枚以内

応募　12月10日までに、市社会教育課「はたちの主張」係（一番堀通3の2、公会堂内）へ郵送

資格　昭和28年4月2日～昭和29年4月1日生まれで市内に住む人

入選1席1編、2席2編、3席3編を決め、成人式当日発表します。

表彰　成人式当日、教育委員会から入選者へ表彰状と記念品を贈ります。

12月の巡回市民相談

〈入舟連絡所地区〉
とき　12月6日(木)
ところ　入舟連絡所2階会議室

〈濁川連絡所地区〉
とき　12月11日(火)
ところ　濁川連絡所会議室

〈赤塚連絡所地区〉
とき　12月13日(木)
ところ　赤塚連絡所2階会議室

〈大形連絡所地区〉
とき　12月18日(火)
ところ　大形連絡所会議室

◆時間はいずれも午後1時半から午後3時半まで